

思えば18年前に変な病気を罹って体の平衡が取れなくなり、“立派な”身体障害者になって山に行くことはあきらめていた所、卒業(但しワングルの!)30周年ということで、安達太郎山のくろがね小屋に集まるという知らせを受け取った。

山頂はともかく何とかして、くろがね小屋だけでも行って仲間に会いたいものだと思います、いつもの如く拓哉に相談した所、「サポートしてやるから」という言葉に甘えて参加することにした。ついでに娘にも山と山仲間のよさを教えてやろうと、荷物運びも兼ねて「行こう」と声を掛けたら、最初はニベも無く断られた。しかし日が近づくにつれて「行く」と言い出したので、これ幸いとポーターと杖を兼ねさせることにした。

山行については会報に報告があると思うので省略。

当日は両手にストックを持ち空身で自分のペースで歩いていたら、デカイザックを背負った人から「速すぎる」と注文が出た。うれしいのだよ、また山に来られたということは。

一晩泊まってそのまま下山?するつもりでいたら、「手を引いてやるから、山頂まで行こう」とのお言葉にまた甘え、両側から支えて貰ってエッチラオッチラ。天気は良いし、気心の知れた仲間と過ごす時間がたつのは早いもの。とうとう頂上に立ち回りを見わたわす気分の良いこと、言葉には尽くせない……。

懐かしい山、すばらしい仲間に囲まれて我が人生で最良の日でありました。この機会を与えてくれた皆様に、改めて感謝します。

ありがとう!

蛇足：また誘ってくれないかしら……。

『至仏登頂断念』 21期 坂本 務
 「今年の夏休みは下の子が6歳になり結構歩けるようになったので、尾瀬・至仏山荘1泊、昨年より解禁となった至仏山登頂を企てました。梅雨明けが曖昧なまま8月2日鳩待峠から尾瀬ヶ原へ。約20年ぶりの尾瀬ヶ原は1年の夏合宿、武尊から越後三山へのヤブ縦走で怪我人の治療のため至仏から降り立った予定外テンバ。ヤブ稜線に比べその華やかな都会はなんと眩しかったことか。その思い出を秘めて家族で訪れた現代の尾瀬ヶ原は、花が終わっていたこともあり感慨が弱め。ワングル時代には考えられないような贅沢な山小屋の夜を過ごし、早めに就寝。夜中の強い雨音にいやな予感。翌朝、雨はほとんどあがっていたので、予定通り至仏へ。取り付きの木道までは良かったが、登りになるといきなり登山道が沢。ジャバジャバ音を立てて流れる「沢水」でほどなく子供たちの運動靴は「グチュグチュ」状態に。「もう、帰ろー」とブー言う子供たちをだましだまし、何とかたどり着いた樹林限界からの尾瀬ヶ原全景は20年前に、怪我の仲間をかばいながらゆっくり、ゆっくり降りた時に脳裏に焼き付けた情景を走馬燈のように思い出させ、パパ一人感慨に耽っていました。来年も行くぞ!」

今年は異常気象が続いた。これは正月山行から既に始まっていた。ホウオウ三山を目指したのは、低気圧をやり過ごした31日であった。思惑どおり快晴。元旦もよい天気と読んでいたら、なんと吹雪。テントが揺さぶられる。強風の中をどうにか薬師岳へ登る。そして夜叉神峠に向かう2日はまた快晴。峠から北岳の遭難救助の様子がよく見える。

3月は吾妻へスキー登山。この季節の雪は本当に滑りにくい。まるで初心者に戻ってしまう。吾妻小屋の遠藤さんのお世話になり、2日目は土湯温泉に下る。

5月は例年どおり(まだ2年目だが)立山・雷鳥沢にテントを張り、スキー三昧。天気は快晴、剣御前から剣沢小屋への滑降が最高。ただ、最後の楽しみの御山谷の大滑降は雪が少なく、来年回し。

この後、相棒がエンストし、1年間のお休み。

9月のOB山行は小原さんと、8期の同期会はどうか二人で参加。

鈴木禄弥先生 学士院会員へ

ワングル創立期から暖かくご指導いただいた初代部長の鈴木禄弥先生が、12月14日の学士院総会において新会員になりました。

おめでとうございます！！

新聞によれば、「法律制度・概念を徹底して機能的に分析する点に方法の特色があり、物権法、担保物権法、借地借家法に優れた成果を上げた」ということです。

昨年、中国訪問の際、ご病気になりましたが、現在は体調も戻られ、ますますご活躍されています。

ささやかではありますが、ワングルOB会として記念品を贈らせていただきました。

(8期 佐藤)

9月の安達太朗山行は申し合なく 毎10分まで可ぬ。
 =本松駅で30分ぶりに顔を見合せた。即現役の頃への
 又10分。あつきの呼吸で歩み始まる。(今更には山行会に入り
 たいがは 2000 あり) 青一色に7分。山行と温泉。お酒に
 青天の星。11-モカと歌戸。朝焼けの雲海、複線、頂上、お
 100桌満桌の150桌に由る山行だった。(10月 惜しむらくは、今更
 継ぎのつづ。音のつづのつづりな事を 勝手に背中にしめされた)
 おかげ様で 5000 自信をつきました

4山行。私 3日の誕生日に4山行

Mikka
Micko
Mountain) 10. 31 100 と前12. 毎月3日に

山行を(おと決心して、9月 高校の同級会にて宣言し、同行
 者と暮、20日までの やりし山行。今更 中3の娘が、
 10月30 早朝山、12月30 セン森と 一人で歩きました。7/3 10
 2A00 2年-9 徒。10月 来春、娘はここを越え 横濱の高校へ
 転入一人。単独行は 20年ほど 歩み。又、山への 想い
 11.2 (おと)。こゝに読んだ 東北近辺の方 3月10日。せいの
 声で10分。のんびり山と歩(おと)は、

宮下 美恵子
(1944年)



5.4.98
創会
和-創設小屋